





# 韓国本土を震撼させた驚天動地の問題作、日本上陸!!

善と悪の概念すら超越した物語の行き着く果てに、  
あなたは“何”を見るだろうか——

1990年代後半から驚くべき発展、飛躍を遂げてきた韓国映画界。とりわけパク・チャヌク監督『オールド・ボーイ』、ポン・ジュノ監督『殺人の追憶』、ナ・ホンジン監督『チェイサー』といったクライム・サスペンスは、並外れた衝撃度&完成度の両面でセンセーショナルな反響を呼び起こしてきた。そして、この分野の新たな地平を切り開く驚天動地の問題作『悪魔を見た』が誕生した。韓国映画がしばしば好んで取り上げる“復讐”をテーマにした本作は、血も涙もない凶行を繰り返す猟奇殺人鬼とその追跡者の熾烈な攻防を描いているが、通常のクライム・サスペンスの定型を大胆に踏み外し、観る者を未知なる極限世界へと引きずり込んでいく。韓国本国で二度も上映不可の判定をくだされたほどの残虐性と、人間の恐るべき本質をえぐる深みを兼ね備えた物語。これほどまでに凄まじく壮絶な復讐劇は、韓国はおろか世界中のどこを見渡しても前例はないだろう。



真の“悪魔”とは何か?  
悲しみは絶望となり、彼は怪物へと姿を変えた——

ある夜、雪の夜道でジュヨンという若い女性が忽然と姿を消し、まもなく無残なバラバラ死体となって発見される。一か月前にジュヨンと婚約したばかりの国家情報院捜査官スヒョン（イ・ビョンホン）は、最愛の女性を救えなかった自分のふがいなさを何度も呪い、自力で犯人を追いつめる決心をする。スヒョンは重犯罪課の刑事だったジュヨンの父親が入手した捜査資料をもとに、ギョン Chol（チェ・ミンシク）という中年男が犯人だと特定。ギョン Cholとは残虐な凶行を繰り返し、ひたすら快楽のみを貪り尽くす、悪魔そのものだった。

すぐさまギョン Cholを見つけ出し叩きのめしたスヒョンは、その場でとどめを刺さず追跡用のGPSカプセルを飲み込ませ、あえて仇敵を野に解き放つ。ギョン Cholが新たな凶行を犯そうとするたびに怒りの制裁を加え、地獄の苦しみを味わわせようとするスヒョン。スヒョンの目的は、ギョン Cholに法の裁きを受けさせることではなく、ジュヨンが受けた苦しみを倍にして返す“完全なる復讐”を遂行することだった。まさに悪魔のような殺人鬼への報復に執着するスヒョンは、しだいに人間の内なる闇に囚われ、彼自身も凄まじい残虐行為に手を染めていくのだった…。

イ・ビョンホン チェ・ミンシク  
**悪魔を見た**

監督 キム・ジウン 『草葉』『甘い人生』『グッド・バッド・ウィアード』  
出演 イ・ビョンホン、チェ・ミンシク  
2010年 / 韓国 / 上映時間: 144分 / カラー  
アメリカンビスタ / ドルビーデジタル / 字幕翻訳: 根本理恵  
原題: 悪魔を見た / 英題: I SAW THE DEVIL  
配給: フロードメディア・スタジオ  
©2010 PEPPERMINT & COMPANY CO. LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

Broadmedia T&TV  
www.isawthedevil.jp



怪物と闘う者は自らが怪物と化さぬよう心せよ。  
お前が深淵を覗き込む時、深淵もまたお前を覗き込んでいるのだ。

フリードリヒ・ニーチェ「善悪の彼岸」より



R18+  
映 像

**2/26(土)**  
**ロードショー**

豪華特典付き特別鑑賞券 ¥1,300 絶賛発売中!

第2弾特典 ▼ 特製フォトブック&

1/29(土)~2/2(水)5日間限定

ジャパンプレミアご招待応募券



(数量限定・なくなり次第終了) ※一部劇場を除く